

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 3 部門第 4 区分
 【発行日】令和 2 年 3 月 26 日 (2020.3.26)

【公開番号】特開 2018-172797 (P2018-172797A)
 【公開日】平成 30 年 11 月 8 日 (2018.11.8)
 【年通号数】公開・登録公報 2018-043
 【出願番号】特願 2018-109625 (P2018-109625)
 【国際特許分類】

C 2 3 C 14/34 (2006.01)

C 2 2 B 21/00 (2006.01)

C 2 2 B 7/00 (2006.01)

【F I】

C 2 3 C 14/34 A

C 2 2 B 21/00

C 2 2 B 7/00 G

【手続補正書】

【提出日】令和 2 年 2 月 17 日 (2020.2.17)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

主としてアルミニウムから構成されるターゲット材と、支持部材とを、インジウム、スズおよび亜鉛からなる群から選択される少なくとも 1 つの金属またはその合金を含む接合材で結合してなるスパッタリングターゲットをスパッタリングにて使用した後、前記支持部材から分離されたターゲット材の少なくとも前記支持部材との結合面を、水酸化ナトリウムおよび水酸化カリウムからなる群から選択される少なくとも 1 つの塩基で処理し、その後、酸で処理することを含む、前記ターゲット材を洗浄するための方法。

【請求項 2】

前記塩基での処理及び / 又は酸での処理の後に、流体によるジェット洗浄を行うことを特徴とする、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 3】

前記塩基及び / 又は前記酸が、水溶液であることを特徴とする、請求項 1 または 2 に記載の方法。

【請求項 4】

前記塩基が、アルミニウムイオンと錯形成するキレート剤を含むことを特徴とする、請求項 1 ~ 3 のいずれか 1 項に記載の方法。

【請求項 5】

前記酸が、塩酸、硝酸、硫酸、フッ化水素酸、リン酸、王水、及びフッ硝酸からなる群より選択される無機酸であることを特徴とする、請求項 1 ~ 4 のいずれか 1 項に記載の方法。

【請求項 6】

請求項 1 ~ 5 のいずれか 1 項に記載の方法によりターゲット材を処理することを含む、使用済みターゲット材の製造方法。

【請求項 7】

請求項 6 に記載の製造方法により得られる使用済みターゲット材を用いるリサイクル鋳

塊の製造方法。